

オペラ座の怪人 (1989)

THE PHANTOM OF THE OPERA

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 93分

初公開日 1990/11/02

公開情報 ヒューマックス=ギャガ

【キャッチコピー】

これは、映画です。

【解説】

今まで何度か映画化されているガストン・ルルーの『オペラの怪人』を基に、「エルム街の悪夢」の“フレディ”ことR・イングランドが怪人（ファントム）役を演じる翻案作品。G・オハラが脚本を書き、D・サンドファーが脚色した。時代は現代。オペラのプリマを目指すヒロインが、音楽図書館の古書の中から見つけ出した、エリック・デスラー作曲“勝ち誇るドン・ジュアン”を舞台のオーディションの曲に使用。だが、その最中に事故に遭ったヒロインは、前世――すなわち本物の“オペラ座の怪人”のヒロイン――に遡っていく……。後は地下室に住む怪人が自分の愛した女性をプリマとして舞台に立たせるために邪魔者を殺してゆく、という定番のストーリー。怪人の犯す殺人の描写は残酷に仕上げられており、また美術や挿入される曲もよく、役者たちもいい演技を見せる。が、カメラアングルやカットの割り付けが単純で結局盛り上がらない。それぞれにいい素材を持っているだけに監督の手腕のなさが悔やまれる。

【クレジット】

| | | |
|-------|----------------|-------------------|
| 監督 | ドワイト・H・リトル | Dwight H. Little |
| 製作 | ハリー・アラン・タワーズ | Harry Alan Towers |
| 製作総指揮 | メナハム・ゴーラン | Menahem Golan |
| 原作 | ジェリー・オハラ | Gerry O'Hara |
| 脚本 | デューク・サンドファー | Duke Sandefur |
| 撮影 | エレメール・ラガリイ | Elemer Ragalyi |
| 音楽 | ミシャ・シーガル | Misha Segal |
| 出演 | ロバート・イングランド | Robert Englund |
| | ジル・シュエレン | Jill Schoelen |
| | アレックス・ハイド=ホワイト | Alex Hyde-White |
| | ビル・ナイフィー | |
| | ステファニー・ローレンス | |
| | トレンス・ハーヴェイ | |
| | ビル・ナイ | Bill Nighy |